

# 環境かわら版

ごみゼロ  
いちのみや530作戦実施中

No. 15 (2007年11月1日 発行)

## マイバッグから はじめよう エコライフ

一宮市環境基本計画推進協議会では、家庭から出るごみの量を少しでも減らすため、表題のスローガンのもとに「マイバッグ運動」を呼びかけています。

「3つのR」である「Reduce (リデュース・減量)」「Reuse (リユース・再使用)」「Recycle (リサイクル・再生利用)」に加え、「第4のR」といわれる「Refuse (リフュース・拒否)」不要な物は断る」という取り組みです。

買い物で「レジ袋」をもらわないように、自分自身の買い物袋「マイバッグ」を持ち歩く、というこの運動は、「簡易包装」などと同様に、買い物時に受け取っても、結局はごみとなつて捨てられてしまうものを、家庭に持ち込まないようにならなければならないという取り組みです。

この取り組みは、環境問題解決に向けた取り組み

市民 取り組み

実践シリーズ

記事は裏面



マイバッグ運動用のステッカー

現在、一宮市内3つの大型店舗にご協力いただき、売り場のレジ付近に写真のようなステッカーを貼らせていただき、この取り組みを呼びかけています。



レジに貼られたステッカー

平成20年度からは一宮市でも「指定ごみ袋」を導入します。家庭から出されるごみの減量は、環境問題解決に向けた効果に加えて、家計の支出を「ちよつぱり」抑える効果も期待できます。

環境に優しいだけでなく、家計にも優しい「エコライフ」、ご家庭でもぜひ取り組みんでみてください。

< 回 覧 >


\* 裏面もお読みください。

## 市民 ごみ減量 実践シリーズ

### ”一人一日53グラム”ごみ減量へ

市では常時全市を挙げ、ごみ減量推進運動として「いちのみや530作戦」を実施しています。

具体的には、市民一人ひとりが、一日53グラムのごみを減らすというものです。53グラムは一人の市民が一日に出すごみの約5%で、一年間では市全体で7千トン以上のごみ減量になります。一人ひとりの努力でこんなに大きな成果が生み出せます。

最近では省資源の観点から、マイ箸を持ち歩く人も増えて、当協議会スタッフにも15年前からの本格派がいます。レジ袋では市内某スーパーでの最近の調査で、常時マイバッグ派が40%、なるべく持参が36%でした。本欄の実践事例の提供者3人も、買い物にマイバッグは常識とのこと。

350mlアルミ缶3本、スチール缶なら1本、一ツルペットボトル1本、割り箸は10膳、レジ袋は7〜10枚

市民の中で、「我が家の環境大臣」「いちのみやエコ・ウオーク」に登録して、

環境保全、とりわけごみ減量に努力している人達も増えています。

ほとんどの人が分別を正しく行う一方、商品の過剰包装によるごみ増量を避けるため、過剰包装やレジ袋などを断る努力をしています。

ごみ減量を考える場合に、重量からも生ごみの処理がポイントの一つにな

ります。実践事例から電動生ごみ処理機で一人一日98グラムの減量。EMぼかしで堆肥化により一人一日25グラム減量の事例報告がありました。

生活圏に不用物を取り込まないことがごみ減量の基本で、●ムダな買物をしない。●古布や着ない服をリフォームで再生利用を！との実践事例も寄せられました。

今回は広範な市民のごみ減量の活動の一端を紹介しました。

一人一日53グラムのごみ減量の実現を、一人ひとりの努力で達成していきたいものです。

#### 《実践事例の提供》

山田せつ子さん（萩原町）  
丹羽美智子さん（三条）  
齋藤京子さん（大和町）

#### 「野焼き」を

していませんか！



ごみを燃やした時に発生する煙は、臭いが洗濯物につく、部屋に入るので窓を開けられないなど、周りの人の迷惑となります。

・基準にあった焼却施設を用いずにごみを焼却する、いわゆる「野焼き」は、一部の例外を除き原則禁止されています。

・家庭から出た紙などは燃やさずにリサイクルし、再資源化できない物は、可燃物・不燃物として収集日に出してください。

詳しくは、「ごみの分別」については、環境センター（☎45 7004）へ、

「野焼き」については、環境保全課（☎45 7185）へお問い合わせください。